



7月28日京都府庁

府民の会は、7月28日午後、京都府への要請を行いました。府民の会からは、森下総子代表、片岡明事務局長をはじめ、7名が参加。京都府は総務調整課塩見参事が対応しました。要請では、森下代表があいさつを行うとともに、昨年までに集まった署名1183筆を提出しました。（旧署名は45896筆提出となりました）森下代表は、あいさつで、現地ではあいかわらず騒音がひどく、府として改善のため積極的に動くよう求めました。辻昌秀事務局長が要請内容について説明。（要請書は裏面参照）京都府塩見参事が答えました。回答の要旨は下記の通りです。

【住民への説明について】 工事がはじまる前には説明会必要だと思う。2期工事は遅れていて秋ごろから。何らかの説明が要ると求めている。引き続き申し上げていきたい。

【安全安心連絡会について】 もっと開催するよう求めている。また、個別に問題が起きれば対応を求める。公開せよとのことだが、結果については、議事録作れと求め防衛局で作成中。近くさかのぼって公開。

【騒音問題について】 発電機の周囲への防音吸収パネルのかさ上げ工事の設置をはじめた。（28日から）10日ほどの工期。高さ5メートルほどになる。地元の祭がある8月24日前後は、フェンスに防音パネルを臨時に設置する。レーダー設置場所からの音は大きい。これについては何とかすべきと言っている。防衛局は「米軍で検討している」と回答している。騒音調査は近く実施することになっている。根本的には商用電力が必要。これは時間を要する。別途設置された2台は小型で普段使わない。年に数回メインのメンテナンスのために使う。なお、8月24日は座間から音楽隊が来る。

【排水について】 市と防衛と地元で決着していると聞いている。2期工事までは排水はすべて回収することになっている。緊急シャワーの排水についてはよく承知していない。調べる。

【住居について】 市は、地元の意向ふまえていぬい適切な手続きを確保すると確認事項でしてい

る。そうでないなら府としても対応が必要となるだろうが、今のところそうはなっていないと思う。現在、レイセオン社の住居を探している。

（市の対応は住民自治への乱暴な介入だ。そうはなっていないというのは理解しがたい。住民票がない、だれかさえもわからないという状況は、一般の人が居を構えるのとは異なると指摘した。）

【Yナンバー車。交通事故について】 台数聞かせてもらえていないがご指摘の台数だろうと思う。任意保険に入っていないとYナンバー車の承認はしないと米軍は言っている。3000万の任意保険などについては実態などは不明。講習会は、教室を借りてやっている関係で、常時は難しい。スピード違反は事故につながると安全安心連絡会で言っている。オルブライト司令官は、事故防止はがんばってやるとし、小さい事故も警察に届けるよう指示していると言っている。無料パスについては2010年決算（国）について会計検査院が調査し報告。なかみのチェックを防衛省がきちりすることとしている。

【京都府の体制について】 参事として担当することになる。丹後局では部長以下チームを作っている。そして総務で1人嘱託を雇い現地巡回、情報の確認をしている。

京都府知事

山田 啓二 様

米軍専用レーダー基地の撤去を求める京都府民の会
 (略称：米軍基地いらぬ京都府民の会)
 連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都5階
 京都総評内 京都共同センター気付
 電話075-801-2308 FAX075-812-4149

代表委員 共同代表

米軍基地建設反対丹後連絡会代表	岩崎 晃
京都総評議長	吉岡 徹
京都平和委員会会長	岡田 英樹
京都自治労連委員長	池田 豊
新婦人京都府本部会長	森下 総子
自由法曹団京都支部幹事長	中村 和雄
安保破棄京都代表委員・科教組委員長	河口 隆洋
京都府商工団体連合会会長	久保田憲一
京都民主医療機関連合会会長	尾崎 望
事務局長 京都平和委員会事務局長	片岡 明

京丹後経ヶ岬米軍基地についての要請書

日ごろのご活躍に敬意を表します。さて、昨年12月26日から米軍基地の本格運用が開始され半年以上が経過しました。私たちは本格運用直後に、貴職に対して米軍基地の発電機の騒音（とりわけ低周波）測定をするとともに、基地の運用の中止を求めてきました。さらに、交通事故・違反、軍属の住居、基地の看板など、さまざまな問題が放置されたままにあることなどを指摘してきました。さらに、米軍基地に関連して、住民が知っておくべき情報がほとんど開示されず、説明会も開かれていないこと。そして、これらの諸問題に 대응するべき安全安心連絡協議会が、まともに機能しているとは言いがたいと感じてきました。

防衛省・防衛大臣が、貴職や京丹後市長に約束した住民の安全安心がおろそかにされています。貴職は、住民の安全安心が保障されない場合は基地の「撤回もありうる」とされてきました。まさに、そうした強い態度で対応していただくことが求められています。

そのため、私どもは治外法権の米軍基地の撤去を求めています。貴職に対しては、この間の経緯をふまえて、住民の安全安心に関して、防衛省、米軍に対して当初の約束を果たすよう強く求めていただくことを要請します。

記

- 1、宇川地域も含め、住民全体への説明会は昨年4月以降1年3ヶ月の間一切行われていません。そして最後の説明会で約束されたことがことごとく破られています。住民へのていねいな説明会を開催し、住民の意見・要望を直接聞くよう、防衛省、米軍に求めること。
- 2、安全安心連絡協議会は、住民の安全安心を保障する上で重要な役割を果たすべきであり、府として連絡協議会が市民に公開され十分機能するよう積極的な役割を果たすこと。
- 3、基地の騒音は全く解決していません。マフラーのついた発電機からのものもやまず、Xバンドレーダーのサイトからも冷却機によるとみられる強烈な音が聞こえます。最近新しい発電機の音もそこに重なる状態です。現在の状態での騒音調査を新たに実施するとともに、京都府としても責任を持って、早急な解決策の実現を防衛省・米軍に強く求めること。府が承知をしている具体的な解決方向を明らかにすること。
- 4、電磁波、生活用水や排水、緊急シャワー設備の排水などによる地域への影響、さらに観光をはじめ地域生活への影響などについて、府として現時点の掌握状況の詳細を明らかにすること。また、米軍基地設置に伴う、京都府としての対応の現状について明らかにすること。
- 5、軍属の住居に関して、網野町島津での6～8割が反対とも伝えられる住民意向調査結果を発表すべきでないとする京丹後市の圧力は、きわめて不当な住民自治の蹂躪であり認めがたいことです。この件に関して京都府は「京丹後市の意向を十分踏まえる」とする防衛大臣への「確認・要請事項」を出していましたが、京丹後市のこのような姿勢も「意向として」認めるのか明らかにすること。網野町島津の予定地は、小学校に近く、住民の不安を強くするものであり、住民の意向をふまえた住居確定をするよう関係者に府として要請をすること。
- 6、軍属のホテル住まい以外の住居は約束違反です。また、米軍基地への通勤について、30台以上のYナンバーの私有車やレンタカーが使われています。これも約束違反です。オルブライト司令官は「指導する」としていましたが、集団通勤のレイセオン社用マイクロバスは空のまま行きかうなど不可解極まりない状況も起こっています。基地関係者のYナンバー車の実態を明らかにさせ、これらの問題の是正を求めること。
- 7、交通事故に関して、日本での免許取得に準じた技能・法令講習と検定のパスを求め、それに達しない米軍関係者には運転許可を与えないよう米軍に求めること。また、日本国内での運転について法令遵守をするようあらためて米軍に求めること。
- 8、京都縦貫道の開通に伴い、米軍の私有車が京都市内にも容易に入ってくるのが予想されますが、そのことに対して府としては同のような対応を考えているのか明らかにすること。
- 9、米軍基地に関して貴職が防衛省に求めてきた諸点が解決したのか、進行状況を明らかにすること。また、今後もし起きうる諸問題を正確に把握し対処できる体制を京都府が関係機関と連携してとること。

以上